Liberty

学園広報誌【リバティ】
九州共立大学／九州女子大学／九州女子短期大学

vol.10
2013 Autumn

理事長 福原弘之を支える言葉
第3回〈司馬 遼太郎〉

■ 特集2

九州共立大学、
九州女子大学・九州女子短期大学の地域貢献

地域とふれあい、人のために行動する
学生たちが考える
地域貢献（ローカリゼーション）

■ Professor's Voice

●九州共立大学 経済学部 経済・経営学科
長野 史尚 特任講師

●九州女子大学 家政学部 栄養学科
巴 美樹 教授

■ 未来への視点

●九州共立大学 学生トレーナーCARE
部長 片山 裕太くん
（九州共立大学 スポーツ学部 スポーツ学科4年）

●九州女子大学・九州女子短期大学 弓道部
主将 種村 菜美さん
（九州女子大学 家政学部 栄養学科3年）

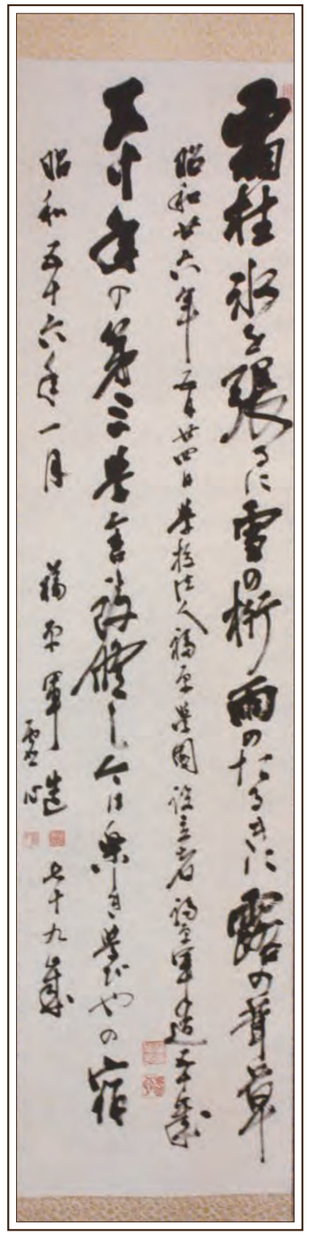
■ 特集1

九州共立大学、九州女子大学・九州女子短期大学の国際化

夢育てる、かけがえのない経験
国境を越えて学びあう。



学是 自律処行
福原学園



霜柱氷を張るに雪の桁雨のたるきに露の茸草
昭和二十六年五月二十四日
学校法人福原学園設立者福原軍造五十歳
三十年の茅之学舎も改修し今は楽しき学びやの宿
昭和五十六年一月　福原軍造七十九歳　虚心

【福原軍造 書】

この軸作品には、自作の歌二首が書されている。第一首は昭和26年の歌、次首が昭和56年の歌である。

昭和26年3月5日、「財団法人　福原学園」が組織変更を許可され「学校法人　福原学園」に改称したのを機に、福原軍造は学園理事長に就任する。名前に「…学校法人福原学園設立者…」と冠し、気持ちを新たにしたと推察できよう。設立時までの苦労を思いながらも、その先の希望に満ちた思いが垣間見られる。艶やかで伸びのある書風が歌意と合致する。

昭和56年の歌は、歌意通り、前の歌から30年後の心境を詠んでいる。明治35年1月28日生の福原軍造79歳の書であるから、80歳を直前にしての心境である。古い校舎を改修し、学園としての新たな歴史を刻んでいく喜びを述べている。筆跡は前首と同書風。しかしながら、力が内にこもる線質で、漢字と仮名が融合し自然な流れ（書風）を生み出している。

この歌二首の間には、30年の歳月が経っているが、作品自体は、福原軍造79歳の書である。

万感の思いの30年間が、この「書」には凝縮されているであろう。設立時の苦労や理念を忘れず歩んできた福原軍造の人柄が偲ばれる「書」である。

【解説】九州女子大学 人間科学部 人間発達学科
准教授 古木誠彦

Liberty
学園広報誌【リバティ】
九州共立大学／九州女子大学／九州女子短期大学

vol.10
2013 Autumn

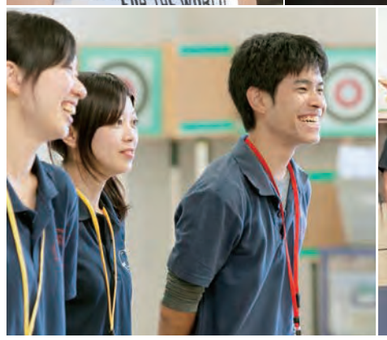
事務局：福原学園 法人事務局 総務部 広報室
ＴＥＬ：093-693-3083
ＵＲＬ：http://www.fukuhara-gakuen.jp/
発　行：学校法人 福原学園
発刊日：平成25年10月1日

CONTENTS［目次］











理事長 福原弘之を支える言葉
第3回〈司馬 遼太郎〉
「雲上在蒼天」
（雲上に蒼天あり）

■ 特集1 ―― 02
九州共立大学、
九州女子大学・九州女子短期大学の国際化
夢育てる、かけがえのない経験
国境を越えて
学びあう。

■ 特集2 ―― 08
九州共立大学、
九州女子大学・九州女子短期大学の地域貢献
地域とふれあい、人のために行動する
学生たちが考える
地域貢献（ローカリゼーション）

■ Professor's Voice
―教育の現場より― ―― 12
●九州共立大学 経済学部 経済・経営学科
長野 史尚 特任講師
●九州女子大学 家政学部 栄養学科
巴 美樹 教授

■ 未来への視点
―The viewpoint to the future― 16
●九州共立大学 学生トレーナーCARE
部長 片山 裕太くん
（九州共立大学 スポーツ学部 スポーツ学科4年）
●九州女子大学・九州女子短期大学 弓道部
主将 種村 菜美さん
（九州女子大学 家政学部 栄養学科3年）

■ TOPICS ―― 20

Liberty
学園広報誌【リバティ】
九州共立大学／九州女子大学／九州女子短期大学
vol.10 2013 AUTUMN

理事長
福原弘之を支える言葉
3

雲上在蒼天（雲上に蒼天あり）
司馬 遼太郎

司馬遼太郎の著書『故郷忘じがたく候』に登場する
有名なこの言葉には、誰の心にも沁みる響きがあります。
人の心は弱く、だからこそ、私たちは自らの心を鼓舞する言葉を大切にします。
古来、言葉には魂が宿ると信じられ、言霊と言い習わしてきました。
言葉を心に持つことで、人は希望を抱き、明日を信じることができます。
私にとって、そんな言葉の一つが、「雲上在蒼天（雲上に蒼天あり）」です。

最近の日本の経済は、覆っていた厚い雲の隙間から
幾筋かの光が差し込んできたように見受けられます。
その光を自らのものとして取り込むには、
それぞれの才覚と努力と運によるのではないでしょうか。
私学経営にとって、少子化がもたらす影響が甚大であることは自明の理です。
今後、わが学園に厚い雲の切れ間からの陽光は差し込むのでしょうか。
それは、私たちの才覚と努力が十分であるか否かに委ねられています。
そして、運を引き寄せるだけのものを持っているかどうかが試されているのです。

これまで、卒業式の告辞で、学生諸君に餞（はなむけ）の言葉として贈ってきた
「雲上在蒼天（雲上に蒼天あり）」。
学生諸君だけでなく、本学園の教職員ならびに本誌を読んでいる皆さんにも
この言葉の深さを噛みしめていただきたい。
私自身、常にこの言葉を胸に日々を悔いのないように精進し、
今後、より顕著になる少子化が、私学経営に及ぼす影響を最小限にくい止め、
学園のさらなる発展のため、改革に邁進する覚悟です。
最後に、皆さんがそれぞれの青空をめざし、
雲の上を行くことができるようになることを願ってやみません。



学校法人福原学園 理事長
九州共立大学 学長
九州女子大学・九州女子短期大学 学長
福原 弘之

PROFILE

昭和16年生まれ。福岡大学経済学部卒。昭和39年八幡西高等学校（現自由ケ丘高等学校）に教諭として赴任。民間企業の経営者を経て、平成16年学校法人福原学園の常務理事に就任。翌年、副理事長となり、あわせて九州共立大学と九州女子大学・九州女子短期大学の副学長を兼任。平成19年、福原学園理事長に就任。平成20年、九州共立大学の学長となり、平成22年九州女子大学・九州女子短期大学の学長を兼任。全日本社会人体操競技連盟副会長、九州体操協会理事、福岡県体操協会会長、福岡県レスリング協会会長、日本私立大学協会理事・同九州支部理事。趣味はゴルフ、野球、スポーツ観戦。

司馬 遼太郎 Shiba Ryotaro
（1923年8月7日―1996年2月12日）
小説家、ノンフィクション作家、評論家。戦争に従軍した後、新聞記者となり、在職中から小説を書き始める。戦国期、幕末から明治期に至るまでの日本を描き、その生涯で多数の歴史小説を手がけた。

〈特集1〉
九州共立大学、
九州女子大学・九州女子短期大学の

国際化 Globalization!

夢育てる、かけがえのない経験
国境を越えて学びあう。

**国際化が進む社会を生き抜くには
語学力はもちろん、
広い視野や異文化への理解が必要だ。
留学は、このような見識を高めるために
有効な経験といえるだろう。
そこで、本学で学ぶ留学生と
海外留学を経験した学生に集まってもらい、
貴重な体験などを語ってもらった。**

**学生たちのメッセージから
海外で学ぶ魅力を感じてほしい。**





プロ野球っておもしろい。ホークスの熱烈なファンです！

Valeria Criscuolo さん

ヴァレリア・クリスクォロ

イタリア ベローナ出身。
九州共立大学経済学部経済・経営学科の短期留学生として、2013年4月から9月まで在籍。特技はエアロビクス。



学園に向かう坂道が、きつかった〜！

金 娜さん

キンナ

中国 上海市出身。
九州女子大学人間科学部人間発達学科の短期留学生として、2012年9月から2013年8月まで在籍。料理が得意。趣味は旅行。



日本でカラオケを初体験！日本語の歌をたくさん覚えました♪

Claudia Soddu さん

クラウディア・ソッドゥ

イタリア サルディニア島出身。
九州共立大学経済学部経済・経営学科の短期留学生として、2013年4月から9月まで在籍。日本の歴史、特に戦国時代に興味がある。



カナダの冬は極寒。−40℃の気温にしびれました!!

柳田 梨絵さん

九州女子大学 人間科学部人間発達学科4年

2011年9月から2012年8月まで、カナダのリジャイナ大学に留学。好奇心旺盛で、知らないことはすぐ調べたくなる性分。



アルバイトも経験して北九州弁もバッチリ！

陳 楽さん

チンラク

中国 湖北省出身。
九州共立大学経済学部経済・経営学科の短期留学生として、2012年9月から2013年8月まで在籍。旅行と読書が好き。



留学先では英語の“なまり”に悪戦苦闘！

平田 奈津美さん

九州女子大学 人間科学部人間発達学科3年

2012年8月に約2週間、イギリスのアバリストウィス大学に留学。弓道部に所属するスポーツウーマン。

留学を決めた理由は、語学学習や異文化への興味

柳田　私は大学4年の秋から1年間、カナダに留学しました。実は、大学2年の春休みに個人でアメリカへ短期留学したのですが、その時、英語力の足りなさを痛感し、もっと学びたいと留学について認識を改めました。留学すると英語力が磨けるだけではなく、いろいろな国の留学生と一緒に学ぶことで異文化を知るきっかけができ、視野が広がりました。

平田　私は中学生の頃から海外で学ぶことに憧れていて、「学生時代に海外へ行かなければ後悔する！」とずっと思っていました。そこで※1国際交流・留学生センターが行っている※2短期海外研修プログラムを利用し、約2週間のイギリス留学を実現することができました。現地の授業では留学生同士でディスカッションしたり、コメディの台本を作って演じたりして、語学力とコミュニケーション力を学ぶことができました。

きっかけは憧れ。そこから始まる世界は可能性に満ちている。

金　私は日本に行きたくて、中学時代からずっと日本語を勉強していました。テレビドラマでしか見たことのない日本を実際に見たかったのです。大学では情報、日本語、そして心理学を学んでいますが、母国では学べなかった日本の風俗や歴史に触れることができ、今すごく充実しています。

ヴァレリア　私が通っていた大学では3年生になると、希望すれば留学できるシステムがあります。行き先を日本に決めた理由は、日本を紹介するインターネットサイトを見て、漢字の美しさや日本語の発音の面白さに興味を持ったからです。靴を脱いで家の中に入ったり、布団を敷いて寝たり、私にとって不思議な文化を実際に確かめたい気持ちもありました。

今は留学生向けの日本語コースのほか、日本人学生と一緒に「ビジネス実務演習」を学んでいます。社会人としての振る舞いや、お客様にお茶を入れる作法などはとても勉強になり、将来、きっと役に立つと思います。

※1 国際交流・留学生センター

本学から海外へ留学する際の手配や、海外からの留学生の受け入れ手続きなどの業務を行っている部署（耕雲館4階）。業務内容については、P7を参照。

※2 短期海外研修プログラム

国際交流・留学生センターが企画・運営している研修プログラム。春期と夏期に3〜6週間程度（平成25年度より）、海外の協定校に留学。語学学習や文化研修などの充実したプログラムを提供しています。P6、7参照。

事前学習と現地にとけ込む柔軟な気持ちが語学力アップにつながる

平田　留学生のみなさんは日本語がとても流暢だけど、語学の勉強はどれくらいしたの？

クラウディア　イタリアで3年間、日本語を学びました。文法、会話、漢字、聴解、読解の授業を受けていましたが、母国語と全く違うので難しかったですね。特に漢字は、大学2年までに1100字をマスターしないといけなかったんですよ。

　日本では環境マネジメントを学んでいますが、イタリアよりテストが多くて大変です。

陳　私も大学から日本語の勉強を始めました。中国では読み書きの勉強がほとんどで、会話の勉強があまりありませんでした。でも、日本に来て日本人と話すうちに、だんだん話せるようになりました。言葉は実際にしゃべらないと身につかないことがよくわかりました。今では北九州弁も少し理解できますよ。



計画、学習、実行。周到な準備で不安は期待に変わる。

柳田　私は、恥ずかしながら留学前の英会話力はゼロに近い状態。留学先の学校では英語の習熟度レベルに応じてクラス分けされたので、授業についていくことはできたけれど、リスニングが苦手だったので、ホストファミリーや友人、先生には積極的に話しかけ、会話の中で知らない単語が出てくるたびに意味を尋ねてノートを取っていました。語学力をつけるには自分から話しかけることが大切ですね。



異国でのたくさんの体験が小さな自分を変え、視野を広げてくれた。

留学を通してわかったこと将来の希望

ヴァレリア　将来は日本でイタリア語を教えるなど、イタリアと日本の懸け橋になれるような職業に就きたいと思っていましたが、福岡市で行われたジョブフェアで「就活」を体験し、日本企業への就職も視野に入れようかと思い始めています。

　みなさんは留学してから気持ちの変化がありましたか？

金　留学していろいろな国の留学生と交流することができ、柔軟性が身についたと思います。日本の企業で働くのが夢ですが、これからは英語も学んで、世界で通用する人間になりたいと思うようになりました。

　あって、希望する大学ごとの説明会があります。自分に何が必要なのかをよく調べて、サポートしてくれる制度を利用すれば、安心して留学の準備ができると思います。

平田　私も奨学金のことは学内に掲示してあるポスターを見て知りました。大学には留学をサポートするいろいろなシステムがあるので、留学を考えている人は日頃から情報収集した方がいいですね。

学びたい気持ちを応援する支援制度や奨学金

柳田　ところで、海外で学ぶには資金が必要です。私はお金の工面がつかなくて、なかなか留学を決心できませんでしたが、日本学生支援機構（以下、JASSO）の※3留学生交流支援制度を利用して実現できました。

　みなさんは留学のために利用した制度や奨学金はありますか？

平田　私は本学の※4海外研修報奨制度を利用しました。留学前には国際交流・留学生センターで日常英会話や渡航前の準備などについての研修があり、安心して出発できましたよ。

金　私は母校である上海海洋大学の先生からJASSOの留学生交流支援制度を教えてもらいましたので、日本が留学生を支援してくれるなんて、これはチャンスだと思って申し込みました。

陳　私も大学院に入学して留学生交流支援制度を知り、貴重な留学機会をもらうことができました。日本行きが決まった後は国際交流・留学生センターの方から日本での生活などについて事前に教えてもらったので、準備の参考になりました。

クラウディア　母校には留学提携大学がたくさんありました。留学先の生活習慣や気候、地形などを前もって調べておくことも大事ですね。

平田　私は約2週間の短期研修だったので、本当に時間が足りませんでした。事前にしっかり計画を立て、充実した日々を過ごさないとやりたいこともできず、あっという間に帰国となってしまいます。

クラウディア　留学で大切なのは自分の力を信じることです。日本に来る前は本当に不安でしたが、自信を持って前に進むことでたくさんの体験ができ、成長したと思います。これから留学を考えている人は自分の力を信じ、ぜひ一歩を踏み出してください。



留学前の準備は念入りに自分を信じ世界を広げよう

金　北九州はとても住みやすく、生活面も大学の先生や職員の方がフォローしてくださいますが、ゴミの捨て方がわからなかったり、中国にはない急な坂道にびっくりしたり、来てみないとわからないことがいっぱい

※3 留学生交流支援制度

日本学生支援機構（JASSO）が推進している留学生支援事業の一つ。短期および長期のプログラムがある。

※4 海外研修報奨制度

九州女子大学・九州女子短期大学が導入している奨学金制度。短期海外研修参加者を対象とする。

〈特集1〉
九州共立大学、
九州女子大学・九州女子短期大学の
国際化 Globalization!

国際化に対応し、世界で活躍できる人材を育てるための3つのプログラム。

国際交流・留学生センターを活用して、語学力やコミュニケーション力を磨くとともに、異文化理解を深化させる。

国際化が進み、日本社会において、地球規模で物事を考え、海外の人と協力しあって仕事をし、価値を生み出していくことのできる人材が求められるようになりました。国際交流・留学生センターでは、世界で活躍できる人材を育てる一助として、右記の通り3つの海外留学プログラムを用意しています。留学を希望する学生には、担当スタッフがきめ細かに対応しながら最適なプログラムを学生とともに考えます。

また、国際交流・留学生センターでは、海外からの留学生と本学の学生との交流の場としてのさまざまなイベントなども開催し、学生の語学力やコミュニケーション力の向上、そして異文化理解の促進に努めています。

1 短期海外研修プログラム

春期・夏期の休みを利用して、海外の協定校に3〜6週間程度（平成25年度より）留学します。語学学習や文化研修などの充実したプログラムを提供しています。

2 長期・短期留学プログラム

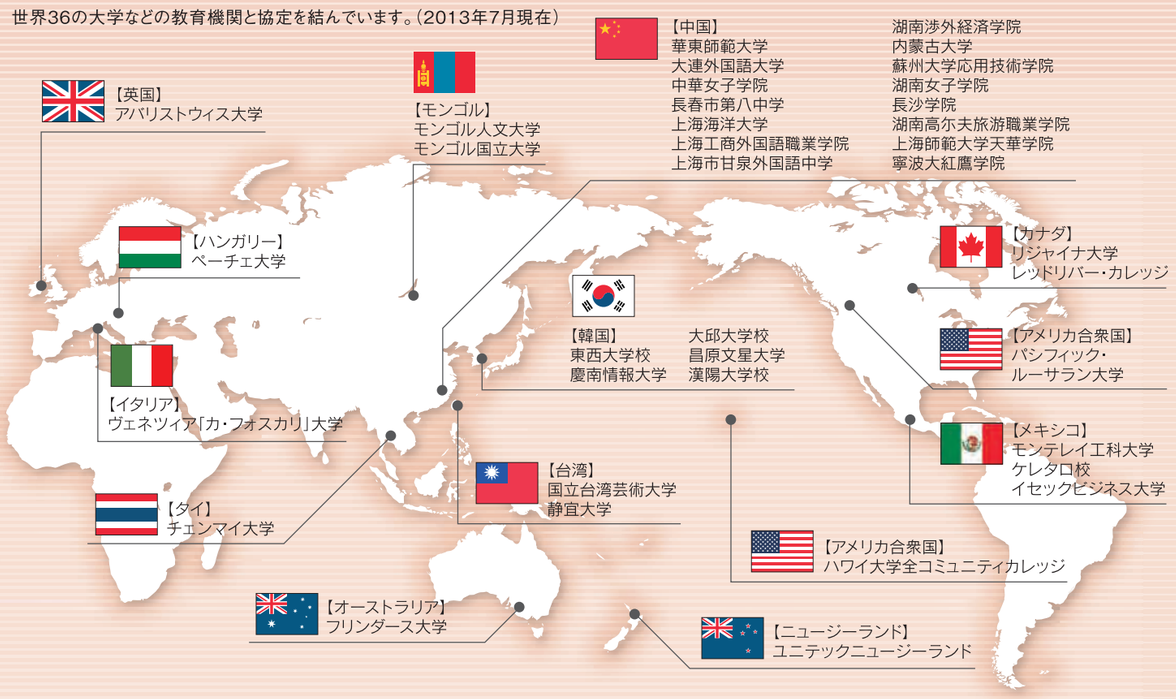
日本学生支援機構（JASSO）の留学生交流支援制度を活用した留学です。

3 私費留学プログラム

上記のプログラム以外の留学。留学を希望する学生に対して、担当スタッフが最適な留学プログラムをアドバイスします。

九州共立大学、九州女子大学・九州女子短期大学の海外協定締結校

世界36の大学などの教育機関と協定を結んでいます。（2013年7月現在）



My Experience 留学体験記 Report



柳田 梨絵さん
九州女子大学
人間科学部 人間発達学科4年
※株式会社日本旅行に内定

〈2011年9月から1年間〉

リジャイナ大学

4年生の春に留学を決意。留学生交流支援制度が、夢を後押ししてくれました。

留学には強い憧れがありましたが、行動に移す勇気がなく、また金銭面の問題もあって、なかなか一歩を踏み出せずにいました。でも、やはり学生のうちに留学を経験したいと思い直し、就職活動を始めていた4年次の春に留学生交流支援制度（短期派遣）に応募。学内の書類審査や面接などに合格して、リジャイナ大学へ留学することができました。友人から現地の情報を聞いてはいましたが、国際交流・留学生センターおよび大学からのアドバイスを受けることで、安心して旅立つことができたと思います。カナダは治安もよく、町の人も親切なので、勉強に集中するにはおすすめの環境ですよ。

英語の授業は課題が難しく、何度も投げ出したい気持ちになりましたが、やり遂げるたびに達成感に満たされ、英語を通して自分に自信が持てるようになりました。

来春から就職する旅行会社では、この留学で培った英語力を生かし、新しいことに挑戦していこうと思います。



国際交流・留学生センター

国際交流の拠点となる国際交流・留学生センターの主な活動を紹介

短期海外研修プログラムの企画・運営

海外協定締結校で実施される語学・文化研修プログラムの企画・運営をしています。所定の基準を満たした学生には、単位が認定されます。

ホームステイ・ボランティア・バンク

ホームステイを希望する留学生には、本バンクに登録している日本人家庭を紹介しています。ホームステイをした留学生や受け入れてくださった家族の双方から、「異文化交流ができて本当によかった」との感動の声をいただいています。

短期・長期留学についてのアドバイス

留学を考えている学生に対し、担当スタッフと外国人教員とがサポートやアドバイスを行います。公費留学や私費留学など、さまざまな相談に対応します。

地域との交流

折尾地区周辺の方々にご協力いただき、地域とともに留学生を受け入れる体制を整えています。地域のまつり（折尾まつり）で国際屋台を出店したり、クリスマスパーティを企画・実施したりするなど、地域の方と留学生との結びつきを深める活動を推進しています。


折尾まつりや大学祭では母国の郷土料理などを披露し、人気を集めています。




各種パーティなどのイベントで、地域の人々との交流を深める留学生たち。

〈特集2〉
九州共立大学、
九州女子大学・九州女子短期大学の

地域貢献 Localization!

地域とふれあい、人のために行動する 学生たちが考える 地域貢献（ローカリゼーション）

グローバリズムによって、経済や社会が地球規模で変化していく現代。
世界のさまざまな価値観やその尊さを知ったからこそ、
私たちの暮らす国や地域の大切さがわかる時代になりました。
九州共立大学、九州女子大学・九州女子短期大学には、
サークルや部活動の仲間と、地域の活動に参加する学生たちがいます。
一見地味で、その活動は知られていないかもしれません。
でも、学生たちが活動を語る表情はいきいきと輝いています。
地域に根ざしたそれぞれの活動に取り組む学生たちに、
そのひたむきな想いを聞かせてもらいました。

Localization! 他大学や企業と協力する地域貢献



ESD同好会PLUM　部長
溝上 あゆみさん

Localization! サークルで取り組む地域貢献



ちょボラ部　部長
吉本 和則さん



大学祭実行委員会
実行委員長
上田 晴香さん

Localization! 大学の機能を生かした地域貢献



アダプテッド・スポーツ研究部　主将
田中 椋介（りょうすけ）さん

Localization! 他大学や企業と協力する地域貢献

北九州まなびと※ESDステーション

**歩くことで見えてくるまちの姿。
グリーンマップ作りが、
北九州の未来を
創造するきっかけになる。**





写真上／たとえば「子どもたちのために」というテーマを決めたら、歩いて調べたことを仲間と相談し、アイコンとして並べます。こうした地道な作業から地図が作られていきます。
写真下／主に土日、小倉を探索しています。仲間といっしょに「ここは、このアイコンが置けるね」と話しながら活動するのは楽しいですよ。

グリーンマップとは、まちのなかで環境に良いところや悪いところを地域の人々と調べ、世界共通のアイコン（絵文字）を使って描く環境マップのこと。私たちは、実際にまちを歩き、「自然」や「ごみ問題」「子どもたちのために」などのカテゴリーでとらえ直しながら、小倉のまちの新しい地図を作っています。

この春からはESDステーションに参加。他大学からもグリーンマップ作りに協力いただけるようになりました。ものごとを多面的にとらえることはグリーンマップ作りにおいて大切です。大学の外に出てたくさんの人の意見を聞くことができるということは、自分の視野を広げるうえでとても刺激になっていると感じます。

このプロジェクトの最終目標は、北九州市全域のグリーンマップを作成すること。地道でたいへんな作業だけれど、地域の大人や子どもを巻き込んで、マップを作り上げたい。そして、グリーンマップが新しいまちづくりの手助けになればと願っています。

**マップ作りは、とにかく参加者の数が命。
毎週火・木曜の昼休みは九女大・短大本館
A430教室で活動しているので、
興味のある人は気軽に来てくださいね！**



ESD同好会PLUM　部長
溝上 あゆみさん
九州女子大学 人間科学部
人間発達学科3年

※ESDとは

ESDとは、「持続可能な発展のための教育（Education for Sustainable Development）」の略。一人ひとりが、世界の人々や将来世代、環境との関係性のなかで生きていることを認識し、行動を変革するための教育と定義される。

北九州まなびとESDステーションとは

地域や企業、大学の垣根をこえて、学びたい人（まなびと）が自由に集い、活動するための拠点として2013年3月に設立。北九州の全10大学と地域が連携し、現在約20のプロジェクトを進行している。ユニークな講座を開設したり、地域の課題を解決したりするなどの実践活動を通して、将来を担う人材育成に取り組んでいる。



**北九州まなびと
ESDステーション
【まちなかESDセンター】**
〒802-0006
小倉北区魚町3丁目3-20 中屋ビル地下1階
http://manabito.kitakyu-u.ac.jp/
開所時間　11:00～19:45
休所日　毎週水曜日、祝日・年末年始

堀川清掃

折尾をもっと暮らしやすい街にしたい。地域の人と連携しながら、まちづくりに参加しています。

堀川は洞海湾と遠賀川を結ぶ運河でしたが、近年その用途がなくなり、ゴミ投棄の問題が浮上。まちづくりの一環として清掃活動が始まり、地域の方々にお声がけいただいたのが参加したきっかけです。最初は汚れた川に入るのに抵抗がありましたが、徐々に川がきれいになって地域の人が喜んでくださる姿を見ると、掃除してよかったと、しみじみ思いますね。

「ちょボラ」とは、ちょこっとボランティアの略。週末を利用して、堀川清掃をはじめ金山川清掃、警察と連携した夜間パトロールなど、主に地域に根ざした活動に取り組んでいます。ボランティアというと大げさなイメージがありそうですが、人の助けになりたいという想いと少しの勇気さえあれば、誰にでもできると思いますよ。みなさん、ぜひ一歩を踏み出してみてください。



毎年11月に開催される堀川清掃は、年々参加者が増え続け、活動の規模も拡大中。エリアを細かく分け、団体ごとに別れて清掃します。



「川からバイクや自転車が上がってきたときは、びっくりしました。清掃はたいへんだけど、やり終えた後は充実感でいっぱいです」と吉本さん。

「誰かがやる」のではなく、「自分がやる」という気持ちが芽生えました。



ちょボラ部　部長
吉本 和則さん
九州共立大学
スポーツ学部
スポーツ学科3年

Localization!
サークルで取り組む地域貢献

折尾まつり

みんなが楽しめる折尾まつりを企画。大学祭実行のノウハウを生かし、地域を盛り上げる。

折尾まつりは、毎年6月に行われるまちおこしイベント。折尾西公園や九州共立大学などを会場とし、「世界の音楽や踊り」、「沖縄のエイサー」、また子ども向けのイベントや屋台などが企画され、お年寄りから子どもまでたくさんの人でにぎわいます。

裏方としては1月頃から商店の方々との会議が始まり、ステージの企画や進行を決定。普段接することのない地域の人や他大学の学生と交流できるのは、とても刺激になりますね。幼稚園の先生をめざして勉強していますが、子ども向けのイベントや出店を企画できたことは、とてもいい経験になりました。

私たちは大学祭の開催を中心に活動していて、パンフ制作の広告などで地域の方々にたいへんお世話になっています。その恩返しというには微力ですが、折尾の街がよりいきいきとなるお手伝いができればと思い、活動に励んでいます。



人と接する機会が多いので、コミュニケーション能力がアップしますよ！

大学祭実行委員会
実行委員長
上田 晴香さん
九州女子大学
人間科学部 人間発達学科3年





写真上／大学祭の名物でもある沖縄県人会のエイサー。折尾まつりでも観客を魅了しました。
写真下／突然の雨に見舞われながらも、最後まで笑顔を絶やさず、まつりを無事に成功させました。

〈特集2〉
九州共立大学、
九州女子大学・九州女子短期大学の
地域貢献
Localization!

大学の施設でのボランティア

大学の施設で地域の人とふれあう。運動を通して、生活に彩りを添えるお手伝いがしたい。

生涯学習研究センターでは「ボランティアフェスタ in 八幡西」などさまざまな事業を行っています。

私は※アダプテッド・スポーツ研究部として、センターが行うこれらのイベントにボランティアとして参加しています。イベントでは、知的発達障害の子どもたちを対象に体操教室を企画し、運動のコツなどを実技指導しました。助言を受けて運動ができるようになったときの子どもたちの笑顔。「先生できたよ」とうれしくて何度も飛び跳ねる姿が、今でも忘れられません。

センターではほかに、高齢者を対象とした運動講座などをサポートしています。地域の人々とふれあい、アドバイスが役に立てたときはやりがいを感じますね。出会いが活動の励みとなり、自分の成長にもつながっていると感じています。



ボランティアへの参加は、最初の一歩が大切です。勇気をもって踏み出しませんか。



体操教室のボランティアでは、どうやったら運動ができない人ができるようになるか、説明の仕方なども含め、日々学ぶことばかりです。

アダプテッド・スポーツ
研究部　主将
田中 椋介（りょうすけ）さん
九州共立大学
経済学部 経済・経営学科4年

※アダプテッド・スポーツとは
障害者や高齢者、子どもが気軽に参加できるような運動やレクリエーション全般を言います。

Localization!
大学の機能を生かした地域貢献

ともに学び、自分を磨く。学ぶよろこびが、地域の未来を輝かせる。

九州共立大学、九州女子大学・九州女子短期大学は学び舎としての機能を生かし、地域貢献に力を入れています。大学ならではの専門教育を地域に提供することで、人々のキャリアアップをサポートしてきました。生涯学習研究センターはその活動の中核をなす施設。1994年の開設以来、公開講座やフォーラム、資格支援プログラムなどの多種多様な企画が話題を集め、受講者の数も増え続けています。

高齢化が進む日本で、定年後の人生を有意義に過ごしたいという願いは、自明のものとなってきました。生涯学習へのニーズがさらに高まるなか、学生の教育はもちろん、地域全体を活性化できるような学びの拠点をめざし、事業を生み出したいと考えています。







生涯学習研究センターで行われている主な事業（平成25年度）

■ 資格取得支援プログラム
学生の就職活動支援の一環として開かれている課外講座。MOSエキスパート講座や教員採用試験受験対策講座などが揃っています。

■ 公開講座
「個別専門講座」と「市民講師講座」の2種類を開講。前者は学園の教員がその専門性を生かしながら講義し、後者は市民が先生となり、切り絵などの暮らしに活用できる分野について授業を展開します。

■ 主催・共催事業
「西日本生涯学習フォーラム」や「クリスマスコンサート」などを主催。また、市町村・民間、学部学科などとの共催もあわせて行います。

■ ボランティアフェスタ in 八幡西
年1回八幡西区を中心に活動しているボランティア団体が一堂に集まるイベント。センターが中心となって活動を支援しています。

※その他センターではさまざまな事業を展開しています。詳細はお問い合わせください。

Professor's
Voice
—教育の現場より—

実践のなかで「気づき」を得て自ら考えることで企画力を磨く



長野 史尚（ながの ふみひさ）

九州共立大学
経済学部
経済・経営学科
特任講師

主要担当科目はスポーツマネジメント論、スポーツコーチング論、スポーツリーダーシップ論、イベント論。専門分野はスポーツマネジメント、スポーツ経営学、スポーツコーチング。スポーツ科学修士取得。学生時代、幹事長をしていた学生陸上大会でタイムテーブルを組み替えたところ日本新記録が誕生し、スポーツマネジメントの面白さに目覚める。

【スポーツマネジメントによる社会貢献】

競技団体が効率的に競技を運営することで競技者にどのような効果があるか。また、スポーツが社会にどのような影響を与えるかを研究。さまざまなスポーツイベントが注目されるいま、スポーツマネジメントが社会にもたらす役割を研究することの重要性を説く。



ゼミ生を紹介する「選手名鑑」は年々編集スキルが向上し、学生のアイデアに感心することも多い。



研究室に気軽に来室できるよう実験的にポイントカードを作成している。

理論と実践の両輪でイベント企画をリアルに体験

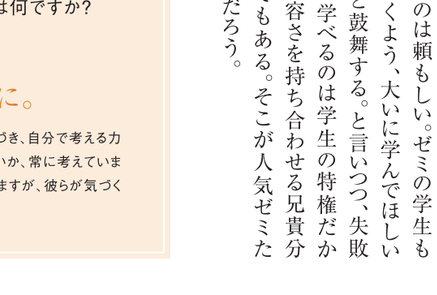
スポーツマネジメントにスポーツ経営学。あまり聞き慣れない学問だが、前者は、スポーツ競技やスポーツイベントを効率的に運営する方法。後者は文字通り、スポーツに関わる企業や団体の経営やスポーツビジネスについて学ぶ。授業ではまずビジネスの仕組みを徹底して理解させ、ビジネスとしてプロデュースする企画力や運営のノウハウ、組織を統率するリーダーシップ論などを幅広く指導している。

ポリシーは理論と実践を常にセットで学ぶこと。「理論では、イベント検定やスポーツイベント検定合格をめざし、知識の向上に取り組んでいます。実践では学内外のイベントに積極的に参加し、現場で必要な実践力を身につけます」と長野講師。

ゼミではその実践力を磨くため、学生を企画部門と制作部門に分けて両部門下のプロジェクトに所属させ、実施したい企画をプレゼンテーションさせる。そして、採用されたものだけが実施できる企業さながらの競争原理のなかで切磋琢磨する。

ひとつの企画をやり遂げるには、実にいろいろな知識や技術が必要だ。まず、社会人に欠かせない企画書を書く力。ゼミ生を紹介する「選手名鑑」の制作では、写真撮影や原稿の作成、パソコンを使っての編集技術や、デザイン能力が求められる。

「学生は、ほかのチームよりいいものを作ろうと技を磨き、印刷会社を相手に印刷費の交渉までやります。企画を進めるうちにスキルが身についていき、たくましくなりますよ。また、イベント製作会社などから依頼があり、イベントを手伝いに行くこともあります。そこでは、スタッフマニュアルを確認しながら作業の一端をまかされたりしますので、プロの技を体感することができます」。



ゼミの時間は、スーツが基本。気持ちも引き締まり、着慣れることで自信がつく。

学ぶ意識が「学び」をもたらす人気を集める理想的ゼミ

楽しみながら学べるゼミのはずと言って微笑む長野講師だが、学生の意識次第で得るものは大きく変わるという。「例えばイベントの手伝いで駐車場整理に派遣されたとしますよね。すると、学ぶ意識の強い学生は、イベントの流れや混雑する時間を考えながら車を誘導します。そこにはいろいろな気づきがあって、得るものが大きいでしょう。しかし、お手伝い気分で参加した学生は、同じ現場で働いても単に時間を潰すだけになりますね」。

そんな長野講師の学生との接し方はクール。常々、自ら課題解決できるよう指導するコーチングの視点をくずさない。「学ぶ人に目的意識がないと、コーチはどこに導けばいいかわかりません。学生が意欲を持って学ぶ気になるまで待つこともありますが、教えられることに慣れ、意欲を持たない学生はせっかく現場で役割を得てもその大切さに気づくこともスキルを身につけることもないし、企画の面白さを知るチャンスを逃していますと」と手厳しい。

そうした学生をこと細かに指導するのは簡単だ。だが、社会では親切に教えてくれたり、叱ってくれたりする人はあまりいない。指示待ち世代といわれる学生には耳が痛いメッセージだろう。

うれしいのはゼミで学んだ卒業生が最近、成果報告に来るようになったことだ。「スポーツマネジメントは新しい学問。業界を盛り上げるためにも、現場で活躍する卒業生たちの話が聞けるのは頼もしい。ゼミの学生も彼らに続くよう、大いに学んでほしいですね」と鼓舞する。と言いつつ、失敗しながら学べるのは学生の特権だからねと寛容さを持ち合わせる兄貴分的存在でもある。そこが人気ゼミたるゆえんだろう。

Q&A

Q 大学で4年間を過ごすなかで、学生に学んでほしいことは何ですか？

A 社会人基礎力。そして、失敗する力と失敗を乗りこえる力。

報告・連絡・相談など当たり前のことがきちんとできる社会人基礎力の上に、その人らしさが光るものがあることが、社会が求める人物像だと思います。また、何事にも果敢に挑戦し、失敗しても乗りこえるたくましさを身につけてほしい。困難に出会った時、きっと力になるはずです。

Q 先生が学生を指導する際に、一番留意されていることは何ですか？

A 成長するまで待つ時間も大切に。

成長するにはさまざまな活動のなかで自ら気づき、自分で考える力を養うことが大事。そのためにはどうしたら良いか、常に考えています。学生の成長には時間がかかることもありますが、彼らが気づくまで待つのも大切な時間だと思います。

Professor's Voice
―教育の現場より―



現場で痛感した“おいしさ”の大切さ 社会に必要とされる管理栄養士を育てる

巴 美樹（ともえ みき）
九州女子大学
家政学部 栄養学科 教授

主要担当科目は臨床栄養アセスメント論、臨床栄養治療論、臨床栄養教育論、管理栄養士総合演習。専門分野は臨床栄養、高齢者栄養。味の素ライフサイエンス研究所に勤務時代、グルタミン酸を添加した食事が高齢者の食欲増進に関わることを実証。一連の研究により、博士号を取得した。



雑誌「臨床栄養」にグルタミン酸特集を連載したほか、学会誌や雑誌に執筆多数。

【高齢者の栄養ケアへのうま味成分活用】

うま味物質のひとつであるグルタミン酸を胃の中に投入すると脳に刺激が伝わり、消化活動が活発になることを実験で突き止め、うま味の多い食事が食欲増進や栄養改善に役立つことを実証。高齢者の食欲改善や生活の質の向上に役立てようと研究を重ねている。

うま味に魅かれて 医療現場から研究者の道へ

巴教授は長年、医療現場で食事作りの指導を行い、入院患者や高齢者の栄養改善に取り組んできた。そんななか、数字合わせの栄養や効率を優先するシステムが「おいしくない」食事を作り、患者の栄養不足を招いたり、高齢者の食欲を奪っていたりする現実にショックを受けたという。おいしさというものが、人が生きていくうえでいかに重要かを痛感し、現場で食の改善を重ねるうちに国内でも有名な研究機関に招かれ、うま味の研究に深く関わることになった。そこで、うま味成分の一種であるグルタミン酸が、食欲に大きく関係することを突き止めた。

大学ではそのうま味をテーマに、高齢者施設の食事改善や生き甲斐向上につながる研究を続ける一方、現場での経験や実際の症例などを示しながら学生を指導。例えば食事をスムーズにする増粘剤の研究では、学生に高齢者施設で苦労した点を伝え、問題意識をもっと喚起して取り組むようアドバイスする。

特に厳しいのは管理栄養士国家試験に向けての指導だ。「試験に合格することは管理栄養士のスタートライン。合格は必須です」ときっぱり。そのうえで学生が自分に合った就職先を決めるまでが自分の仕事と言い切る。さらには学生にとってよりよい就職先を確保するため、日頃から企業に注目してもらうことが大切と自らの実績づくりに意欲を燃やす。「いい結果を出して企業とのパイプをつくり、やる気のある学生を送り込みたいのです」。


「実はおっちょこちょい」という巴教授。気さくでおおらかと、学生や先生の間でも評判。

愛される社会人が 現場で必要とされる

学生には必ず高齢者施設などの現場を体験させ、自分たちの研究がどのように活用されているか、確認させることも怠らない。就職試験での面接時、これまで何を学び、それをどう社会に還元したいのか、自分の言葉で語ってほしいからだ。

また、礼儀作法や時間に厳格なことでも知られる。「研究室には大学の先生のほか、民間の協力企業の方もいらっしゃいます。お客さまに、きちんと挨拶し、お茶を出す。社会ではできて当たり前のことですが、学生のうちに身につくようしっかり指導しています。もちろん、病院や施設へ実習に行く際も挨拶は徹底させていますよ。そして、何事に取り組むにも決められた時間の10分前に準備を整えておくこと。これらが自然にできるようになると、社会との接点のなかで高く評価されますし、就職につながることもありますから」。多くの管理栄養士を部下に持ち、ともに働いた経験から、現場が求める人材を熟知する巴教授ならではの教えである。

その成果だろう、大手食品メーカーや総合病院に学生たちを送り出せた。そして、卒業生の優秀さを見た就職先からさらに求人の依頼が来るといういい流れもできている。「管理栄養士としてのスキルはもちろん、彼女らの謙虚な姿勢や周囲に対する気配りは一緒に働いていて気持ちがいいと評価をいただいています。現役の学生も先輩に負けないよう、しっかり勉強して人間を磨いてほしいですね」。

ところで、専門書がびっしり並ぶ研究室の壁には「目指せ！焼肉！」の文字が踊る。これはどういう意味ですかと尋ねると、「試験で全員が100点取ったら焼肉をおごるって約束したんです。そうしたら、急にみんな成績が上がっちゃって。全員に焼肉はお財布的にきついですね」と笑って答えてくれた。厳しいだけではない。巴教授の心のなかは学生への愛情と茶目っ気もたっぷりだった。

Q&A

Q 大学で4年間を過ごすなかで、学生に学んでほしいことは何ですか？

A 「節度、気づかい、優しさ」

社会では自分の立場をわきまえて礼儀を正し、現場で何が必要とされているか常に気にかけて行動することが大切です。これができる人は上司や周囲の人から信頼を得て結果的にチャンスに恵まれ、やりがいのある社会生活を送ることができるのではないでしょうか。

Q 先生が学生を指導する際に、一番留意されていることは何ですか？

A 「なぜ」を大切に。すぐに答えを与えず、学生に考える時間を。

私は「なぜ？」と思うと、すぐ調べたくなる性分。管理栄養士として働いていた時も、わからないことを調べることで栄養学の面白さに目覚めました。「なぜ」から始まる探求心は管理栄養士としてはもちろん、人間としても大きく成長させてくれるはずです。

九州共立大学 学生トレーナーCARE（ケア）

現場で培う即戦力と人間力 日々の活動でめざしたの扉を開く



現在、部員は男子27名、女子6名の総勢33名。ふだんは和気あいあいとした雰囲気だが、現場では激しく議論を戦わすことも。

アスリートを支える技術を学び めざすはケアの専門家

スポーツの現場でけがをした選手をケアし、復帰へ導く専門家をめざす。学生トレーナーCAREはそんな目的を掲げ、運動部の学生を対象にトレーナー活動を行いながら知識や技術を学ぶ。部長の片山裕太くんに活動内容を尋ねた。

「週4日のケアトレーニングでは、けがをした選手の応急処置から競技復帰まで、さまざまなアドバイスを行っています。活動拠点は、スポーツ学部B館にあるリコンディショニングルームです。ここにはプロの現場さながらの設備が整っているため、即戦力となる技術を身につけることができます」。



実習とはいえ、選手の体を預かる責任は重大。資格を持つ先生の指導を受けながら対処法を考えるが、的確なケアには選手の状態を見極める観察力と、先生に症状を正確に報告するコミュニケーション能力が欠かせない。そのためにトレーニング後はメンバー同士でミーティングを行い、問題点などをあぶり出しながら技術を磨いていく。

こうして部員がめざすのは、日本体育協会公認アスレチックトレーナーの資格取得。難しい筆記試験と厳しい実技が課せられる狭き門だが、「2期生、3期生、4期生と1名ずつ現役合格者が出ています。5期目の今年は複数名の合格をめざします」と志は高い。

大切なのは信頼されること 服装に気を配り 人間力を磨く

学外活動にも熱心で、北九州市内で行われるスポーツ大会にケアスタッフとして参加する一方、小中学生に体幹を鍛える大切さを、セミナーなどを通して伝える。「トレーナーの究極の目的はけがをさせないこと。スポーツを楽しんでもらうために、まずはけがをしない体づくりを知ってもらう。それが重要です」。

クラブ活動時はサンダルとジャージは禁止。理由は、「けがは、いつ起こるかわかりません。サンダル履きでは素早く駆けつけられませんし、人をケアする仕事は信頼されることが第一なので身だしなみは大切です」という。CAREは彼らの人間力をも鍛えているようだ。

スポーツが盛んになるにつれてアスレチックトレーナーをはじめ、ケア専門家への関心はますます高まっている。部員の実践的活動は、きっとあしたの扉を開く大きな力となるだろう。



選手のけがの状態を細かく観察し正確にメモを取る。書き込まれたノートは、的確なケアに欠かせない財産になっている。



学生トレーナーCARE 部長

片山 裕太くん

九州共立大学
スポーツ学部 スポーツ学科4年

小学校から高校まで野球一筋。大学ではトレーナーという仕事に焦点を絞り、幅広く知識を学ぶ。トレーナーの存在を知ったのは入学後だが、将来の目標が明確になり、選手の復帰や成長に立ち会えるケアの現場にやりがいを感じている。今は「まず行動」をモットーに、クラブの認知度アップに奔走中。

九州女子大学・九州女子短期大学 弓道部

矢のようにまっすぐ 真摯な心で掴んだ優勝



「第60回北九州下関地区大学体育大会弓道競技女子団体」の優勝トロフィー。部員の喜びに応えるように誇らしげに輝く。

仲間同士で切磋琢磨するも指導者不在で悔しい思い

弓を構えた瞬間、道場にぴんと張りつめた空気が漂う。部員らの動きによどみはなく、的に集中する横顔は凛々しい。日本古来の武道である弓道は的に矢を中(あ)てるだけではなく、しきたりや立ち居振る舞いなど、礼儀も重要視される。袴姿や所作の美しさに魅かれて弓道を始めた部員も多い。

部員は総勢18名。週4～5回の稽古日にはほぼ全員がそろい、開始30分前に道場を清掃。体のウォーミングアップや基礎練習を行ったあと、弓を引く。



部員同士、ふだんは仲がいいが、大会が近づくと出場をかけてお互いがライバルとなる。道場の空気はより引き締まるという。しかし、懸命に稽古していたにもかかわらず、これまで大会で結果が出せず悔しい思いをしてきた。「実は、昨年まで弓道部には指導者がいませんでした」と打ち明けるのは主将の種村菜美さん。それゆえ、稽古は自己流で、なかなか上達しなかった。

この状況を打破したいと、現在は引退した現4年生部員が昨年、顧問に直談判。その結果、戎政實(えびすまさみ)先生というすばらしい指導者と出会うことができた。

恩師の指導とチームワークが達成感と自信を生む

「戎先生のご指導で、目の前がぱっと開けた感じがしました」と種村主将。弓道の精神から徹底して学び、日頃の稽古では、練習とは思わず常に本番だと自分に言い聞かせて弓を引くよう繰り返し指導を受けた。そんな的確な指導と部員らの精進がついに実を結ぶこととなる。今年6月に行われた「第60回北九州下関地区大学体育大会弓道競技女子団体」で見事、優勝を果たしたのだ。

「この大会は本学が主管校でしたので、部員は試合以外に大会の運営業務も担わなければなりませんでした。それをやり遂げたうえでの優勝だったので、喜びもひとしおでした」。大会では、勝ち進んだ選手が試合に集中できるよう予選で敗退した部員が、種村主将を中心に運営業務一切を引き受けた。互いに信頼し合い、部員が一丸となったことが優勝につながったと振り返る。

大会で得た達成感は何物にも代え難い「揺るぎない自信」になった。それは次の目標に向かう部員たちを強力に後押ししてくれるはずだ。



創部38年の歴史を誇る弓道部の稽古風景。一矢射るたびに、集中力が磨かれていく。



九州女子大学・九州女子短期大学
弓道部 主将

種村 菜美さん

九州女子大学
家政学部 栄養学科3年

かっこよさに憧れて高校時代から始めた弓道。主将に推された時はプレッシャーを感じたが、「部員の手助けがあって、役を全うできました」と振り返り、ダメなことはダメとはっきり言える強さが身についたという。優勝の余韻がまだ残る6月に部を引退。管理栄養士の国家試験に向けて、猛勉強の日々を送る。

九州共立大学創立50周年記念ロゴマークが決定しました。

FROM 九州共立大学

2015年に九州共立大学が創立50周年を迎えるにあたり、広く内外にアピールすることを目的に、記念ロゴマークを募集しました。応募のあった作品から厳正なる審査の結果、最優秀賞1点、優秀賞2点を選出。今後2015年に向けて開催される記念事業を盛り上げていくアイテムとして、3タイプが用途に応じて使用されます。ぜひ注目してください。



■最優秀賞
50周年記念事業の
メインロゴマークとして使用



■優秀賞
学生が主体となる
イベントなどで使用予定



■優秀賞
記念の缶バッジなど、
記念アイテムに使用予定

大学祭のお知らせ

今年も盛りだくさんのイベント&模擬店を企画中!
皆様のご来場をお待ちしています。

九州共立大学

『第49回 霜月祭』

2013年10月25日(金)～27日(日)








九州女子大学・九州女子短期大学

『第53回 華秋祭』

2013年10月25日(金)～27日(日)






リオでWメダルをめざす レスリングの入江姉妹。

レスリング部

FROM 九州共立大学

明治杯・全日本選抜レスリング選手権大会において、3年の入江ゆきさんが48kg級で第2位に入賞。妹で1年のななみさんが51kg級で見事、優勝の快挙を成し遂げました。ふたりは幼少期からレスリングに没頭。「姉妹で五輪」を合い言葉に、2016年のリオデジャネイロ五輪をめざし練習に打ち込んでいます。北九州から代表入りに挑む入江姉妹へ、ご声援をよろしくお願いします。

【大会名】
明治杯 平成25年度全日本選抜レスリング選手権大会
【日程】
6月15日(土)・16日(日)
【結果】
女子48kg級・第2位入江ゆき(経済学部3年)
女子51kg級・第1位入江ななみ(経済学部1年)



姉のゆきさん(右側)と妹のななみさん

幼児教育がイメージできる 「九女保育ルーム」。

九女保育ルーム

FROM 九州女子大学・九州女子短期大学

幼稚園教諭や保育士をめざす学生が実践を学ぶ拠点として、7月に「九女保育ルーム」を開設しました。教室2部屋にはフローリングとじゅうたんの床を整え、園児が実際に使うサイズのイスや用具を完備。幼保の現場をイメージでき、学びが身につくと学生に好評です。また、将来は卒業生や地域の母親が育児教育に参加する場として活用することも構想されています。



オープニングセレモニーに参加した附属幼稚園の園児たち

九州共立大学同窓会と 九州女子大学・九州女子短期大学の facebookを開設しました。

facebookの紹介

FROM 九州共立大学
九州女子大学・九州女子短期大学

九州共立大学同窓会「自由ケ丘」と、九州女子大学・九州女子短期大学のfacebookを開設しました。同窓会では卒業生の親睦を図ることを目的に情報を発信。また、九州女子大学・九州女子短期大学では小さなイベントから食堂の新メニューまで、リアルタイムでニュースをお届けしています。



■九州共立大学同窓会
「自由ケ丘」のfacebook



■九州女子大学・九州女子短期大学の
facebook

子ども健康学科 新プロジェクトのための ホームページができました。

HPの紹介

FROM 九州女子短期大学

子ども健康学科では、地域に活力をもたらし主体的に考える力をもった人材を育てることを目的に、「地域力を生む自律的職業人育成プロジェクト」を立ち上げました。子どもをしっかりと育てあげる保育者・教育者になることを念頭に、産学官と連携しながら、イベントの開催やキャラバン隊の実施などに取り組んでいます。これからもいろいろな実践教育を企画していきます。ぜひHPをのぞいてみてください。



■九州女子短期大学子ども健康学科HP
URL:http://kyujotandai.jp/